

令和5年度 あいEYEワークセンター 自己評価

☆評価は A:十分達成している B:おおむね達成している
 C:やや不十分である D:不十分である
 +:上のランクに近い -:下のランクに近い

分 類	No.	評価項目	評価
経営状況の分析	1	経営・進捗状況の分析により課題を把握し、改善に向けた取組み及び必要に応じて計画の見直しを行っている。	C+
管理者等の責務	1	管理者が自ら業務改善及び効率化に関する対策等を提案し、職員を指導している。	C+
	2	管理者が自らサービスの質の向上に関する対策等を提案し、職員を指導している。	C+
	3	サービス管理(提供)責任者が自らサービスの質の向上に関する対策等を提案し、その他の従業者を指導している。	B
職員の質の向上	1	必要な人材像を踏まえた職員採用を行っている。	B
	2	職員の育成方針及び職員の意向を踏まえ、必要に応じて研修計画を立てている。	B
	3	全ての職員が、研修計画に基づき、①事業所内の研修 ②外部の研修 に参加している。	C
	4	職員が受けた研修の成果について、報告会等で全職員がその内容を共有している。	C
地域福祉への貢献 交流等	1	関係機関と具体的な課題、事例等について情報交換を行っている。	C+
	2	県内において視覚障がい関係の事業所は皆無であるので、他県の同じサービスを提供する事業所と交流の場を持っている。	D+
	3	盲学校等の実習生を受け入れ、育成等を行っている。	C

苦情解決、利用者ニーズの把握	1	利用者に対し、事業所内の苦情解決窓口を設置している。	B
	2	苦情解決に必要な対応を客観的に判断できるよう、第三者委員等を設置している。	B+
	3	利用者のニーズに基づき把握した課題を踏まえ、サービスの質の向上に係る取組みを行っている。	B
利用者の人権尊重	1	人権侵害、虐待、セクシャルハラスメント等に係る事業所内の研修会を開催している。	B+
	2	苦情解決に必要な対応を客観的に判断できるよう、第三者委員等を設置している。	C+
個人情報の保護	1	個人情報の保護に係る事業所内の研修会を開催している。	C+
	2	アセスメント表、支援計画等の個人情報が記載された記録は、施錠可能なキャビネットに保管する等の対応を行っている。	A
サービス提供方法等の共有	1	サービスの提供の記録に当たり、①利用者の心身状況・様子 ②職員が提供した支援の内容が詳細に記録されている。	C+
	2	利用者ごとの課題及びそれに応じた支援方法について、サービス管理(提供)責任者を中心とした職員間で協議・記録し、支援計画の見直しに繋げている。	B+
サービスごとの質の向上(就労継続支援B型)	1	工賃の額の内訳、作業能力の評価基準等を利用者、その家族等が理解するため、説明を行っている。	C+
	2	利用者の工賃水準を向上させるための計画を定めている。	C+